

シリーズ  
教育  
No.9

# 教育の窓

6月

## 24年度から中学校の教科書が変わります

新学習指導要領のもと今年度の小学校教科書に引き続き中学校の教科書も変わります。今回は大幅にページ数が増加しています。各社発行の新しい教科書は、6月17日～30日まで以下の場所で展示されていますのでぜひご覧ください。

会場施設名	場所名称	開館時刻	閉館日
可茂教科書センター	可茂総合庁舎4F	9～16:30	土・日・祝祭
美濃加茂分館	みのかも文化の森内	9～16:30	月・第4火
可児分館	可児市立図書館	10～19平日 10～17土日	月
白川分館	美濃白川楽集館	9～20	第2月
御嵩分館	中山道みたけ館	10～18	月・第3火

## 社会教育委員会が開催される

7名の委員と事務局で社会教育委員会が開催されました。本年度の社会教育全般にわたる活動内容について、新たなメンバーで様々な意見が交流されました。特に、少子高齢化と生涯学習にあり方についてなど、今後の八百津町の社会教育における貴重な意見をいただきました。八百津の文化施設、自然、スポーツ活動、歴史は貴重な財産です。この財産をもう一度見直し、町の皆様が文化的な教養や積極的な活動意欲を持ち、生涯にわたり生きがいを見いだす方向を示していく委員会を目指していくことが確認されました。また、青少年育成活動においてより多くの方が積極的に関わられる方途を今後協議することになりました。以下、委員の皆様です。（敬称は略させていただきます。）

《八百津町社会教育委員 任期：～H25.3月》  
 大脇 義文（代表・和知） 大山 妙子（八百津）  
 加藤 矩弘（伊岐津志） 井戸 隆雄（久田見）  
 渡辺 一成（潮南） 石井 徳和（福地）  
 飯田 健二（八百津高等学校長）



## あいさつの響く町 やおつに

多くの方が「子どもたちから元気なあいさつをしてもらい、こちらも元気になった。」とか「高校生がいつもあいさつしてくれるので、こちらも交わします。」との話を聞きます。

元気で意欲がわく八百津が子どもたちに未来への夢や希望を抱かせることは誰もが知っています。今年度より保育園から高校まで全ての子育て機関では「あいさつ」を重点活動として取り組んでいます。地域の大人が生き方の手本を見せていただき、「あいさつ」を支えていただければ子どもたちはさらに伸びていくことでしょう。このことは、今年度の町教育夢プラン「人道プラン」に基づいて取り組んでいくものです。保育園長・小中高校長会議、青少年育成町民会議運営委員会においても、あいさつを重点的に取り組んでいくことが確認されました。

### 和知小学校でのあいさつの取り組み

和知小学校では、小学校近くの通学路である「和知遠望」と「1階廊下」を「あいさつ通り」としてすすんであいさつをするようにしています。また、生活委員があいさつを広めるために「あいさつせんたい宣隊にこオハヨンジャー」となり、毎週月、水曜日に各教室を回っています。



## 八百津中 今年度より制服登下校開始！

八百津中学校は、長年懸案事項になっていたジャージ登下校を今年度より切り替え、制服としました。

制服登下校によって、場に応じた服装の意識を高めることや規律ある学校生活の確立もねらっています。こうした取り組みが服装だけでなく様々な学校生活の場で生徒の判断力を高めることにつながっています。地域の皆様からの、お声掛けもよろしくお願ひします。

